



「お母さん食堂」の包材技術が農林水産省の 「食品ロスの削減に資する容器包装の高機能化事例集」 に掲載されました！

ファミリーマートで販売するお惣菜「お母さん食堂」では容器包装の工夫で商品をロングライフ化し、食品ロス削減に貢献しており、この取り組みが農林水産省の「食品ロスの削減に資する容器包装の高機能化事例集」に掲載されています。



家庭の食卓を応援する「お母さん食堂」

2016年秋に導入を開始した「ファミデリカ」は2017年9月に単身世帯や共働き世帯の増加、高齢化などの社会変化へ対応し、お客さまの多様なニーズに応えられるようなお惣菜「お母さん食堂」としてラインアップが強化されました。

夕食のおかずにもそのまま出せるような即食需要に対応した、食べ切りサイズのトレイパック商品をはじめ、翌日のお弁当のおかずや、週末の献立のために買い置きができるスタンドパック商品など、様々なシーンに沿った豊富な品揃えで、家庭の食卓を応援しています。



食べきりサイズの
トレイパック商品



買い置き可能な
スタンドパック商品

お母さん食堂の想い

- 1 ちいさいころ、お母さんが作ってくれたような自然で温かみのあるおいしいお惣菜をめざして
- 2 仕事と子育ての両立で忙しいお母さん達が子どもや家族のみんなに安心して食べさせてあげられるように



売場イメージ



「おいしさ」を長持ちさせるガス置換包装とトップシール包装

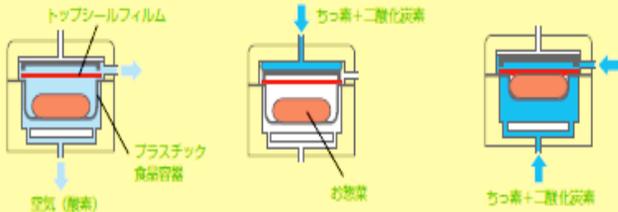
「お母さん食堂」の一部のトップシール包装では容器の内部にある大気成分を食品に適した配合に替える「ガス置換包装」を採用しています。食品が劣化する原因のひとつとなる酸素の配合を極力低くし、食品の酸化を抑えることで鮮度を延長させることができます。

また、トレイパック惣菜では容器の蓋部分に酸素を遮断するトップシールフィルムを使用し、食品包材の高機能化によって商品の「おいしさ」、「鮮度」を損ねず、また添加物に頼ることなく消費期限を3日間延長し、食品ロスの削減につなげています。

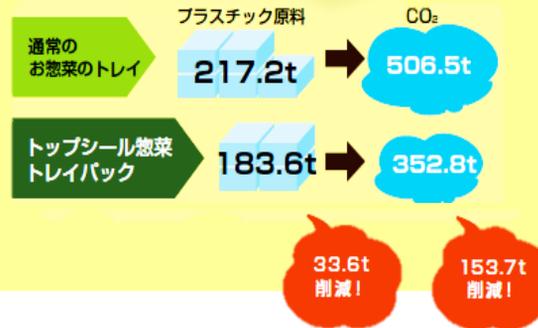
また、トップシールフィルムの使用は消費期限の延長だけでなく、環境にも配慮しています。同容量の惣菜容器と比較し、年間換算で容器包装に使用されるプラスチック原料を33.6t、それを燃焼した場合のCO₂を153.7t削減することになります。

トップシール惣菜の包装イメージ

- ① 容器の中の空気(酸素)を抜いて真空状態に
- ② ちっ素と二酸化炭素を注入
- ③ フィルムで密封(パウチ)して完成!



容器包装の総重量を削減



「お母さん食堂」の取り組みが農林水産省の「食品ロスの削減に資する容器包装の高機能化事例集」に掲載!

農林水産省では、食品ロスの削減につながる容器包装の事例を、食品製造事業者と食品容器製造事業者から幅広く収集し、「食品ロスの削減に資する容器包装の高機能化事例集」としてホームページに公表しています。

「お母さん食堂」の容器包装での取り組みが鮮度保持の点から食品ロス削減に役立つものとして、食品ロスの削減に資する容器包装の高機能化事例集に掲載されました。



「お母さん食堂」紹介ページ

農林水産省：食品ロスの削減に資する容器包装の高機能化事例集

http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/youki/index.html#kokinoka_jirei

「お母さん食堂」の包材メーカーである中央化学（株）がP.15で紹介されています。

Voice

飲食店や小売店での食べ残しや売れ残り、自宅での食べ残し等の食品ロスは2014年度推計で年間約621万トンあります。食品ロスの問題を語る時、よくその俎上に上げられるのがコンビニエンスストア(CVS)です。その理由としては、CVSの食品ロス率がスーパーより高いこと、閉店時間がないため消費(賞味)期限切れ商品を廃棄している姿を消費者に見られる機会が多いこと、全国約6万店と経済規模が大きいことなどが考えられます。

じつは、CVSをはじめ食品に関わる企業は、食品ロス削減のための積極的な取り組みを行なっているのですが、アピールが足りないからでしょうか、あまり世間に知られていません。農林水産省では、そうした企業努力を消費者に知っていただくために、「食品ロスの削減に資する容器包装の高機能化事例集」をまとめ、2017年4月に公開しました。ファミリーマートさんの「お母さん食堂」もその一つです。容器包装改善によって鮮度保持・賞味期限を延長したという事例ですが、食品の容器は中身・食品を守るためにある、という考えを強く感じさせられる取り組みです。

総菜のロングライフ化は、消費者にとっても大いにメリットがあることです。今後は、こうした新商品の開発に加え、商慣習の改善に向けて、食品業界全体で食品ロス削減を牽引する役割を担うことを期待しています。



農林水産省 食料産業局
バイオマス循環資源課
食品産業環境対策室
河合亮子室長

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。